



福岡経営M&Aコンサルタンツが入居する福岡天神フコク生命ビル

【会社概要】

社名/株式会社福岡経営M&Aコンサルタンツ
代表者/宮崎 英樹
電話/092-717-3310
所在地/〒810-0001
福岡市中央区天神 1-9-17
福岡天神フコク生命ビル 15階
URL/http://fmmc.jp
設立/平成26年8月
業種/事業継承・M&Aコンサルティング、
経営コンサルティング、海外取引コンサルティング

在する。しかし、中小企業にとって大手コンサルティング会社の手数料は高額で、敷居が高い。取引先銀行には、融資への影響が出ないかという懸念もあり相談しづらい。行政などにも相談窓口はあるが、専門性やどこまで親身になってくれるかという点で不安が残る。

こうした悩みを抱える中小企業経営者の受け皿を自任するのが、福岡経営M&Aコンサルタンツだ。

宮崎英樹社長は地場大手銀行、経営コンサルティング会社でキャリアを積み、豊富な経験と幅広い人脈を持つ。福岡の業界事情にも熟知している。M&Aでは法務や税務など幅広い知識が求められるが、弁護士や公認会計士、司法書士、不動産鑑定士など、高度な専門知識と経験を持つ専門家とチームを構成し、柔軟に対応している。

宮崎社長は、「どんな企業にも長年の事業の中で培われた価値というものがある。経営者の理念や思い、社員の気持ちを受け止め、それらをひっくり返る買収企業価値に共鳴してくれる買い

手を探すのが当社の役割」と語る。

一口に企業譲渡といってもそれぞれ事情は異なり、一件一件が「オーダーメイド」と言える。その分、手間と時間がかかるが、きめ細やかな対応に各方面からの信頼も厚い。

「買い手」に人気の高い福岡の企業

M&Aに積極的に取り組んでいこうとする「買い手」企業も増加している。事業を一から立ち上げ、顧客を開拓してノウハウを構築し、人材を育成するには膨大な時間が必要だ。経営のスピードが求められる中で、M&Aのメリットに対する認識が急速に高まっている。特に、アジアとも近く、成長を続ける福岡にはM&Aによって進出を目指す企業も多い。

一例を挙げると、福岡市のある建設会社は71歳の社長が体調不良となったが、社内に後継者がおらず、経営でも借入過多の状況であった。それでも、福岡経営M&Aコンサルタンツが仲

介に入ったことで、福岡進出を希望する県外の中堅建設会社に株式を譲渡して事業を承継、社員も継続雇用が決まった。

企業価値の中でも「人材」は大きなウェイトを占める。その分野・地域で経験を積んだ人材を確保できる点が、M&Aのメリットの一つだ。一方で、働く環境や雰囲気が変わることでモチベーションを高め、それまで以上に能力を発揮する社員も多いため、働く社員への配慮を欠かさない。

「M&Aは単なる会社の売買ではなく、経営者の長年の思いが詰まった事業の承継」だと強調する宮崎社長。地場中小企業の発展、対象企業で働く社員と家族の幸せ、そして地域社会への貢献を目指し、同社の挑戦は続く。



福岡経営M&Aコンサルタンツ 宮崎 英樹社長

インサイト
企業Insight

「福岡」「中小企業」に特化したM&A仲介に強み

株式会社福岡経営M&Aコンサルタンツ

中小企業専門のコンサルティングを手掛ける株式会社福岡経営M&Aコンサルタンツ。売り手・買い手・対象企業の社員・情報提供者・仲介会社の「五方良しのM&A」を掲げ、事業承継に悩む福岡の中小企業とM&Aによる事業拡大を図る企業の仲介役を務めている。

6割の中小企業が事業承継に不安

日本の中小企業は経営者の平均年齢が上昇を続けており、スムーズな経営者交代が進んでいないと言われている。総務省の調査によると、経営者の約95%が事業を何らかの形で他者に引き継ぎたいと考えているにも関わらず、毎年約29万社が廃業を余儀なくされている。そのうち約7万社が後継者不在によるものだ。

事業承継を希望している中小企業のうち、後継者が決まっているのは約44%。6割近くで後継者が決まっておらず、将来に不安を抱えているのが現状だ。地域経済の発展や従業員およびその家族の将来にとっても、非常に切実な問題と言える。

経営者、社員に寄り添ったきめ細やかな対応

こうした課題に対応する専門家として、経営コンサルティング会社やM&A仲介会社が存